

岩手県感染症週報

平成26年第26週(6月23日～6月29日)

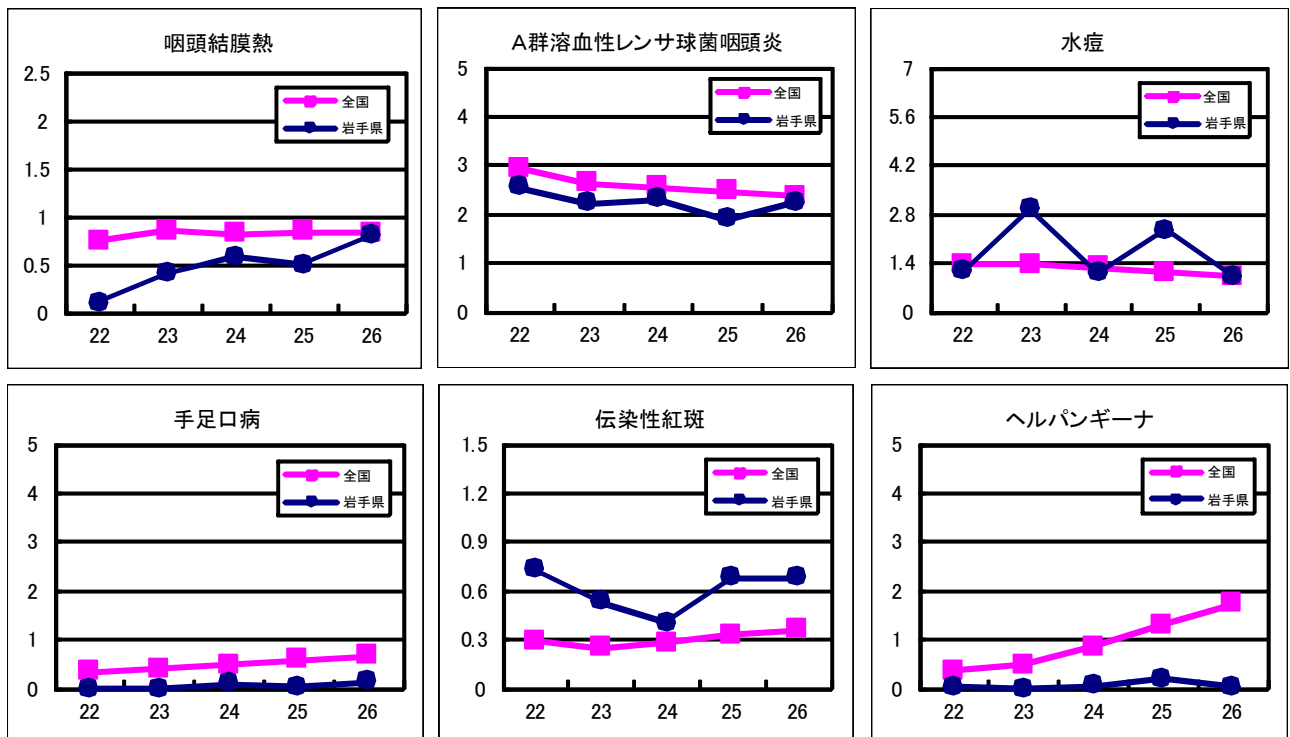
岩手県感染症情報センター

第26週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核 の患者 の報告が5例ありました。そのうち潜在性結核感染症は3例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症 (O157など) は、県央地区から2例、奥州、一関および二戸地区からそれぞれ1例の計5例の報告がありました。例年、7月から10月にかけて患者が増加するので注意が必要です。生肉または加熱不十分な食肉を食べないことなどの食中毒予防の徹底と、二次感染を予防するため、石けんと流水を用いた手洗いの励行が重要です。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・アメーバ赤痢の報告が、奥州地区より1例ありました。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・咽頭結膜熱は、中部地区で警報値(定点あたり患者数3人)を超えました。プール熱ともよばれ、発熱、のどの痛み、結膜炎などの症状が現れます。飛沫感染や接触感染で広がりますが、タオルなどの共用により感染することもあるので注意が必要です。
 - ・百日咳の報告が、二戸地区から2例ありました。患者は10代が1名、20歳以上が1名です。
 - ・感染性胃腸炎は、例年に比較して患者数の多い状況が続いています。盛岡市でノロウイルスによる集団感染事例が発生しており、引き続き注意が必要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		22	23	24	25	26		
インフルエンザ	岩手県	1.66	0.36	0.16	0.14	0.19	→	☆
	全国	0.35	0.17	0.13	0.1	0.07		
RSウイルス感染症	岩手県	0.05	0.03	0.05	0.03	0.03	→	
	全国	0.09	0.08	0.07	0.08	0.08		
咽頭結膜熱	岩手県	0.1	0.4	0.58	0.5	0.8	↗	☆☆
	全国	0.75	0.85	0.82	0.84	0.83		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.55	2.23	2.3	1.9	2.25	→	☆
	全国	2.94	2.63	2.55	2.47	2.36		
感染性胃腸炎	岩手県	9.35	6.38	4.9	4.58	5.35	↗	☆
	全国	8.09	6.65	5.8	5.46	4.99		
水痘	岩手県	1.15	2.93	1.1	2.35	1.03	↘	☆
	全国	1.35	1.35	1.28	1.13	1.03		
手足口病	岩手県	0	0	0.1	0.03	0.13	→	
	全国	0.33	0.39	0.48	0.58	0.66		
伝染性紅斑	岩手県	0.73	0.53	0.4	0.68	0.68	→	☆
	全国	0.29	0.25	0.28	0.33	0.36		
突発性発疹	岩手県	0.63	0.48	0.38	0.55	0.55	→	☆
	全国	0.69	0.7	0.65	0.67	0.67		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0.05	→	
	全国	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.03	0	0.05	0.2	0.03	→	
	全国	0.36	0.48	0.85	1.31	1.74		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.43	0.2	0.33	0.4	0.2	→	☆
	全国	0.32	0.35	0.31	0.35	0.37		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0.07	→	
	全国	0.01	0.01	0	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.5	0.5	0.36	0.43	0.64	→	☆
	全国	0.59	0.64	0.68	0.66	0.63		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.05	0.05	0.05	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.47	0.32	0.63	0.63	0.47	→	☆
	全国	0.28	0.25	0.29	0.26	0.26		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.21	0.11	0	0	0	→	
	全国	0.47	0.31	0.2	0.14	0.11		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	10	2	4	3	2		
	全国	25	14	14	14	7		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		22	23	24	25	26	累計	26	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	3 (0)	14 (7)	8 (2)	16 (4)	5 (3)	139 (54)	429	12120
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	2	2
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	2	1	49
	腸管出血性大腸菌感染症	0	2	0	2	5	15	154	862
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	21
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	1	8
	四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	1	0	1	1
ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	
A型肝炎	0	0	0	0	0	1	1	367	
エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	1	6	
黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	6	
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
回帰熱	0	0	0	0	0	0	1	1	
キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1	
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	2	26	
腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	6	
つつが虫病	2	0	0	0	0	2	3	96	
デング熱	0	0	0	0	0	0	2	81	
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	5	56	
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	5	
ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	27	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	2	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	0	4	26	499	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	7	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		22	23	24	25	26	累計	26	累計
五類 感染 症	アメーバ赤痢	1	1	0	0	1	10	16	532
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	7	131
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	1	0	0	0	4	6	245
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	10
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	2	79
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	1	4	134
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	32	716
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	33
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	103
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	19
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	0	0	0	6	22	1074
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	8
	梅毒	1	0	0	0	0	2	26	739
	破傷風	0	0	0	0	0	2	2	54
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	27
	風しん	0	0	0	0	0	1	4	228
麻しん	0	0	0	0	0	0	6	397	
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

細菌性赤痢

細菌性赤痢は、赤痢菌による感染症で、わが国における発生患者数は戦後しばらくは10万を超え、うち2万人近くが死亡していましたが、1965年半ば過ぎから激減しました。最近では年間300人前後で推移しています。近年、日本で発生している細菌性赤痢の多くは、国外感染およびそれらの感染者からの二次感染、あるいは輸入食品による国内感染と推定されています。海外旅行で、帰国時に感染の疑いがある場合には、検疫所、保健所等で相談することが重要です。

感染経路は、患者や保菌者の便内の赤痢菌に汚染された水、食物による経口感染です。少ない菌量 (10から100個) で感染することから、ヒト-ヒト感染します。

赤痢菌属は、*Shigella dysenteriae*、*S.flexneri*、*S.boydii*、*S.sonnei*の4つに分類されます。岩手県内では、2006年から2014年3月までに、細菌性赤痢は9例届出があり、原因となった菌種は*S.sonnei*が8例で、*S.flexneri* 3aが1例でした。全国でも、*S.sonnei*が一番多く検出されています。

潜伏期間1～3日で発症し症状は全身の倦怠感、悪寒を伴う急な発熱、水様性下痢で、典型的な例では血便、しぶり腹 (テネスマス) を伴います。最近では重症例は少なく、数回の下痢や軽度の発熱で経過する事例が多く、特に*S.sonnei*の場合、軽度な下痢あるいは無症状で経過すると言われています。

2006年～2014年(第13週) 細菌性赤痢菌 一覧 岩手県

年	菌種	性別	感染地域
1 2006	<i>S.sonnei</i>	女性	エジプト
2	<i>S.sonnei</i>	男性	エジプト
3 2007	<i>S.sonnei</i>	女性	タイ
4	<i>S.sonnei</i>	女性	
5 2009	<i>S.sonnei</i>	女性	
6	<i>S.sonnei</i>	女性	
7	<i>S.sonnei</i>	男性	
8 2014	<i>S.flexneri</i> 3a	男性	
9	<i>S.sonnei</i>	女性	インド

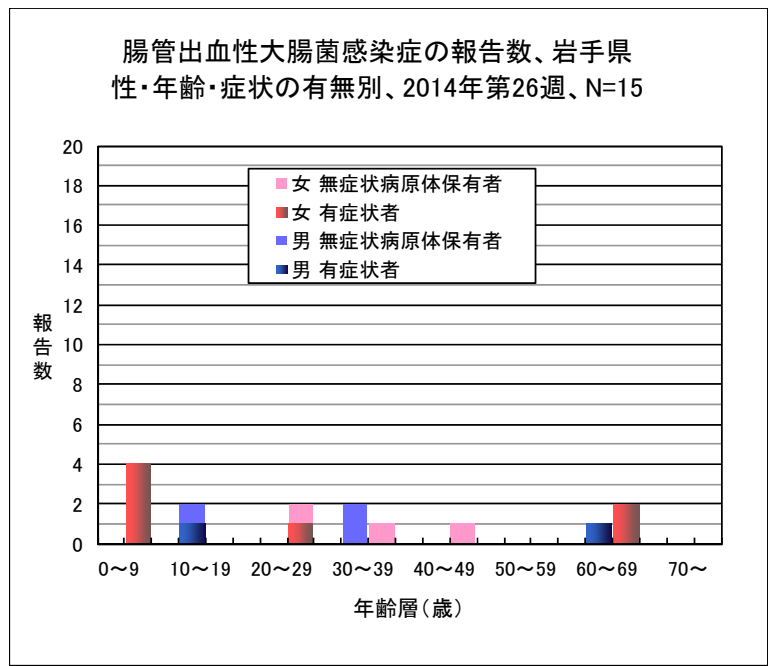
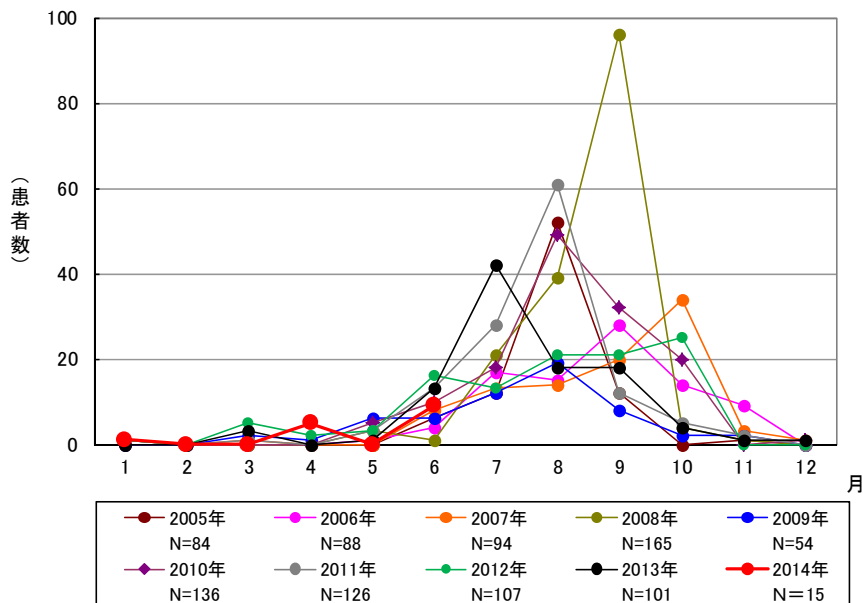
今注目の感染症 (つづき)

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、第26週までに15例の患者さんが報告されています。原因となった大腸菌は、O157が4例、O26が8例、O103が2例、その他が1例となっています。年齢層別では、0～9歳が4名、19から29歳が2名、30～39歳が3名、30～39歳が3名、40～49歳が1名、60～69歳が3名となっています。

予防には、食中毒予防の基本を守り、生レバーや加熱不十分な食肉等を食べないことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を予防するため、排便後・食事前の石けんと流水を用いた手洗いの励行も重要です。

腸管出血性大腸菌感染症 月別患者数 (岩手県2005年～2014年)



病原体検出情報

- ・この週に病原体検出情報はありません。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団感染情報

盛岡市内の保育園（園児数140名、職員数36名）

- ・6月7日（土）～6月27日（金）までに18名（園児17名、職員1名）に症状（嘔吐、下痢、発熱等）
- ・有症者6名（園児5名、職員1名）からノロウイルスを確認

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）

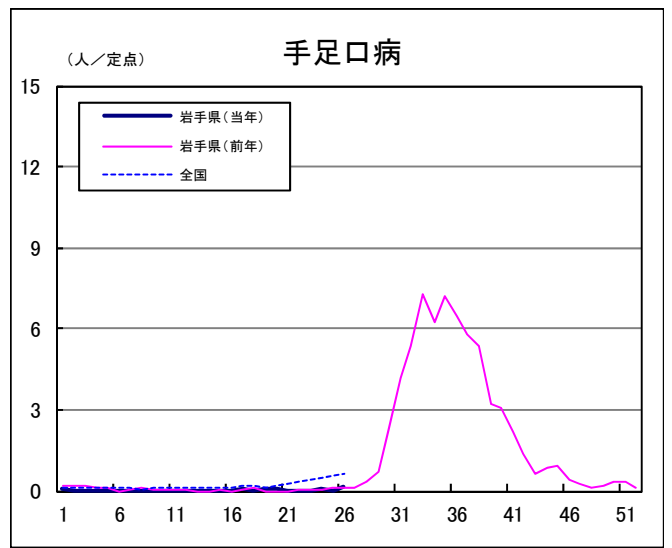
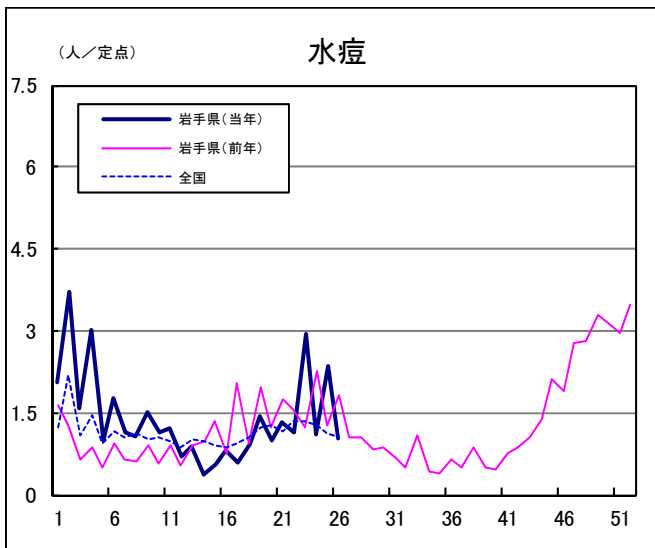
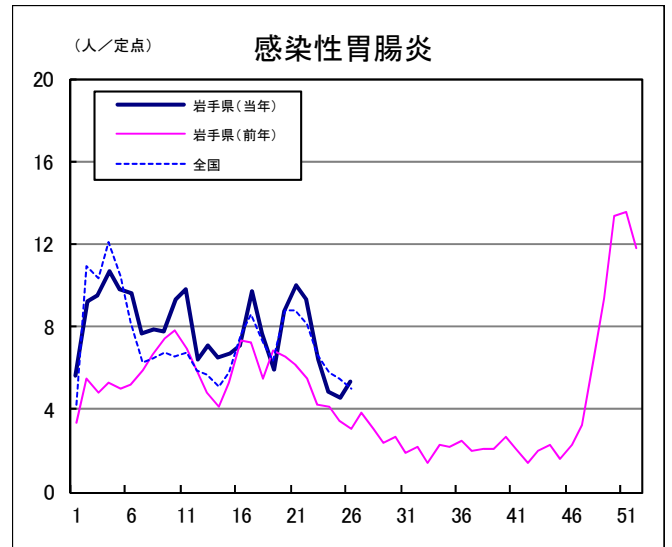
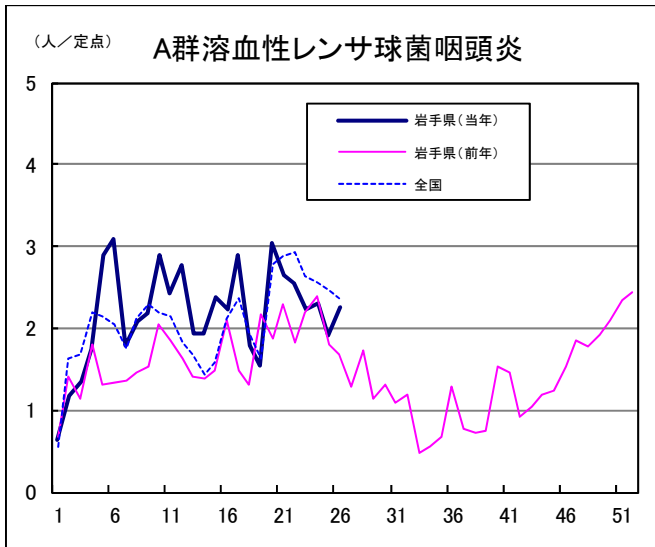
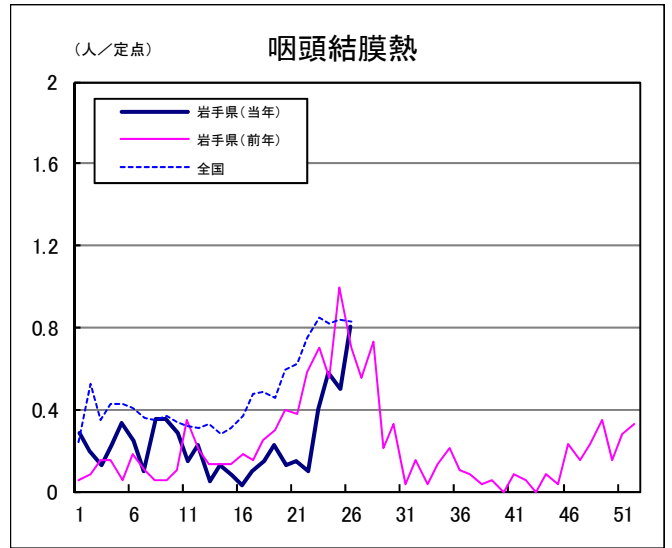
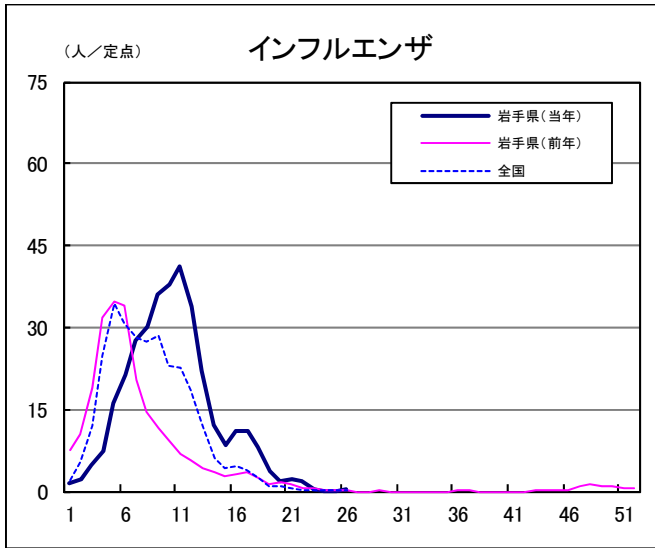
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

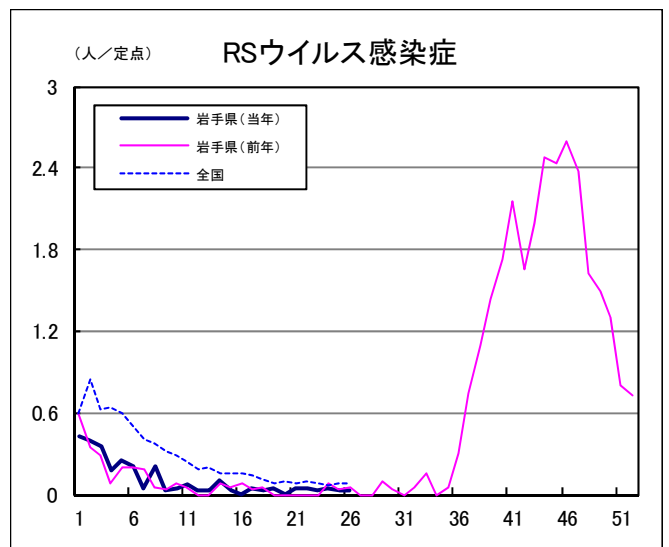
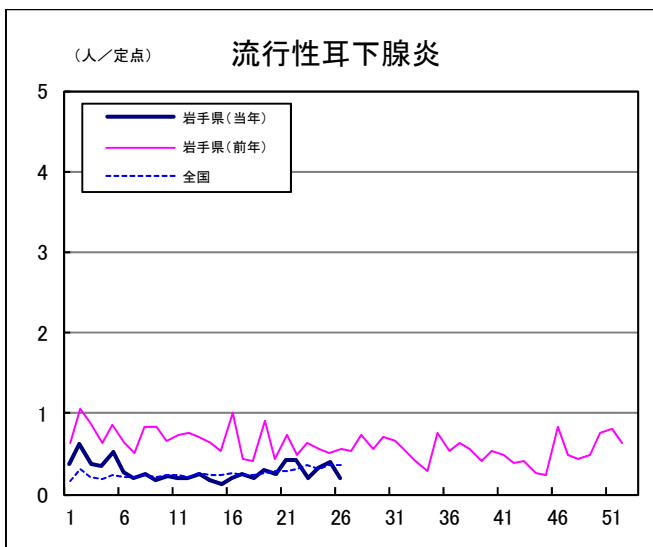
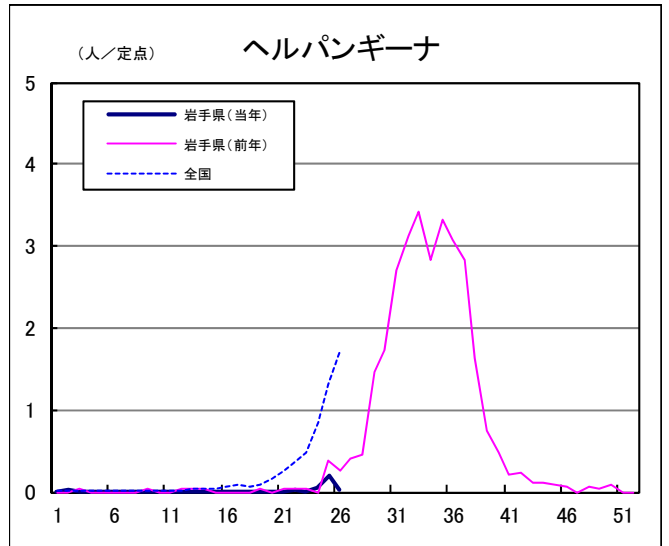
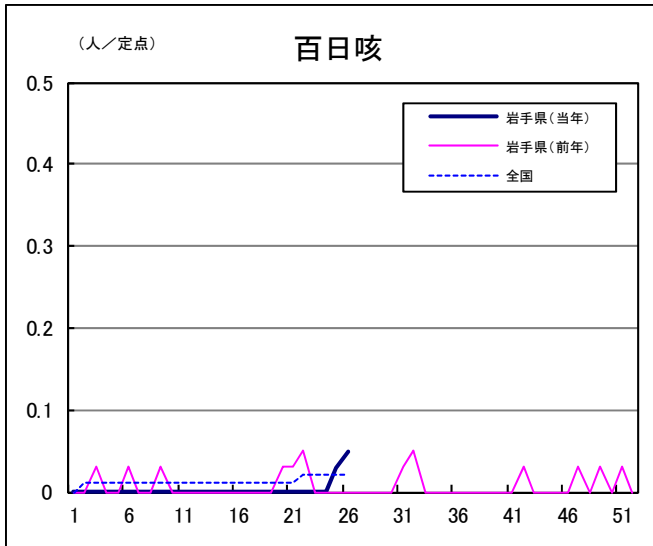
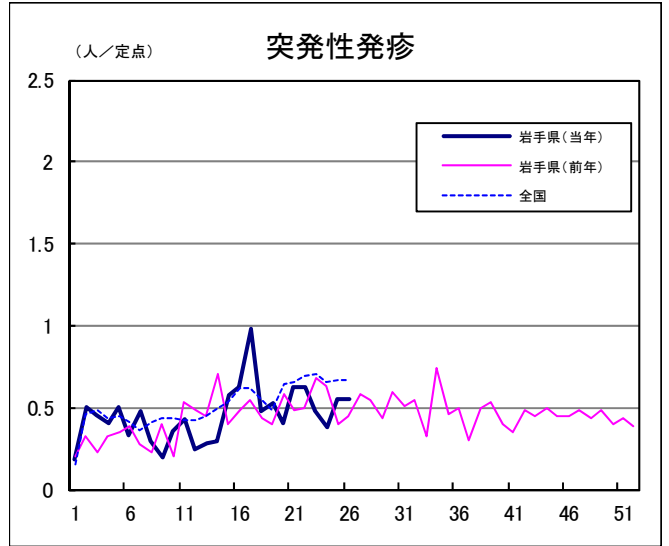
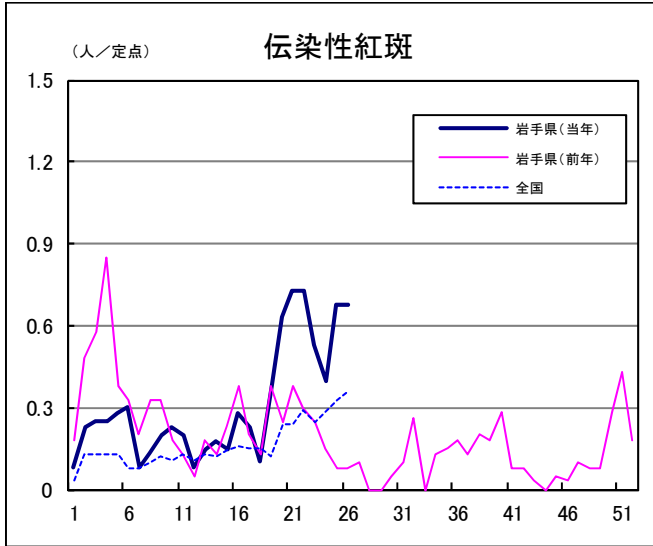
（平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。）

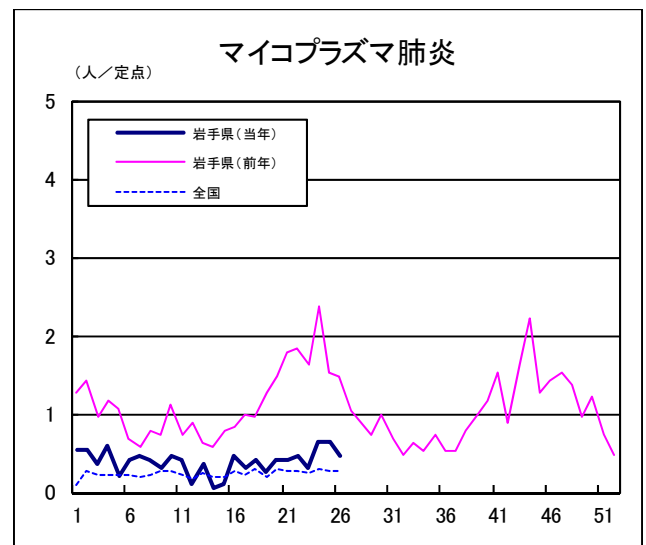
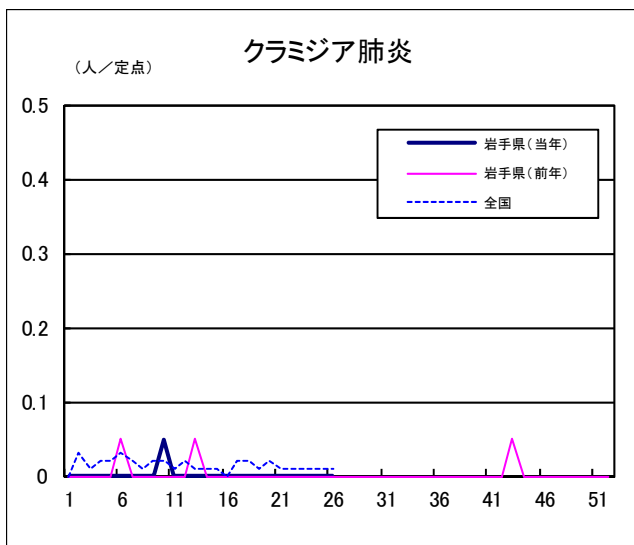
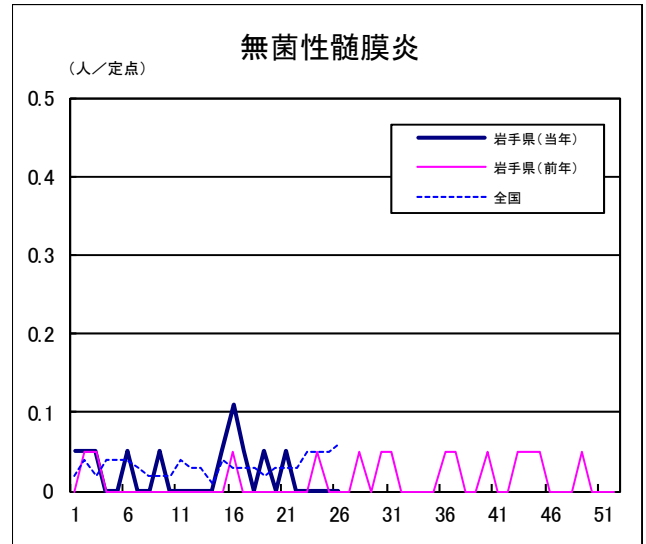
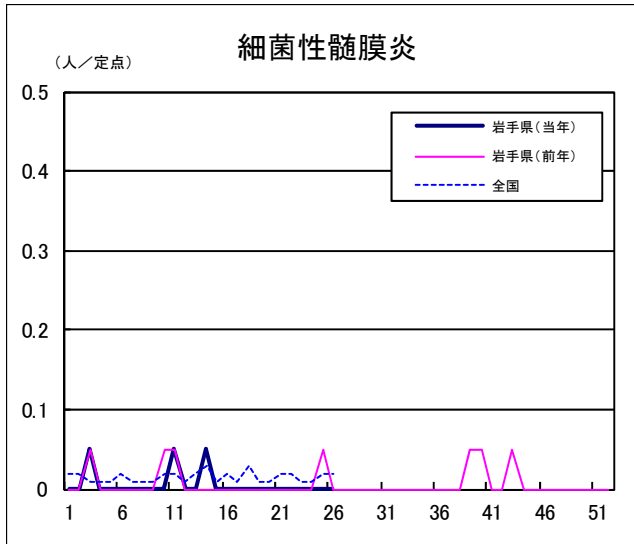
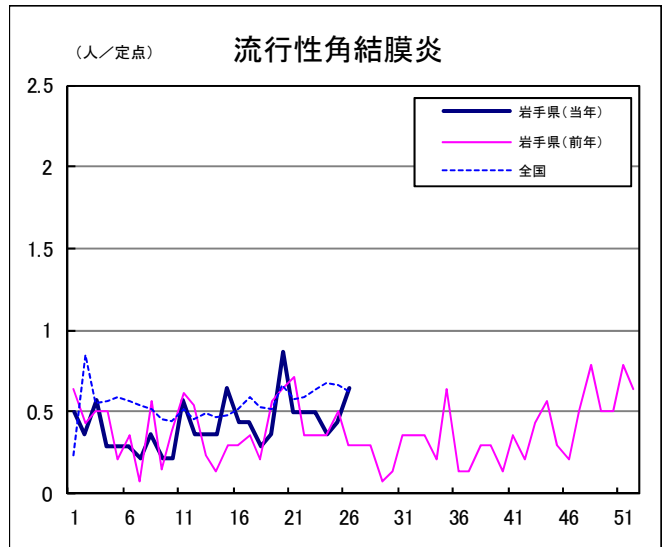
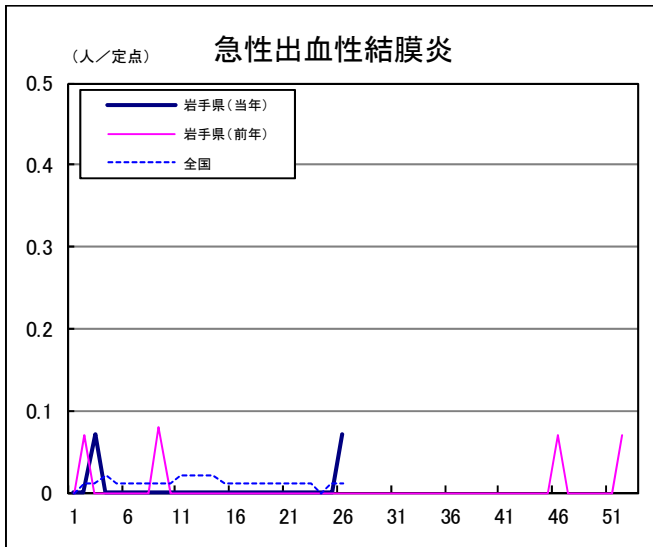
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667

E-mail : CC0019@pref. iwate. jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第26週 平成26年7月4日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>